

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026 年 8 月 17 日
ビープラッツ株式会社
クウジット株式会社

ビープラッツ、クウジットが開発した AI 駆動開発支援基盤
「AMANEX (アマネックス)」の販売開始

サブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats®」を展開するビープラッツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 健治、以下、ビープラッツ）と研究シーズの社会実装に取り組むクウジット株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：末吉 隆彦、以下、クウジット）は、2026 年 7 月 10 日発表の AI 設計支援基盤の構築業務支援に関する事業提携契約に基づき、クウジットが開発・提供する AI 駆動開発支援基盤「AMANEX (アマネックス)」 (<https://www.koozyt.com/solutions/amanex>) をビープラッツが販売開始することを発表いたします。

ビープラッツは、自社での「AMANEX」の導入実績を基に、AI 駆動開発に取り組む SaaS サービス会社や、システムインテグレータ等に対し、販売パートナーとして、提案販売を開始いたします。

「AMANEX」とは、“あまねく、たどりつく。Everywhere, everything, within reach.” をコンセプトとした巨大なソースコード群を解析し、設計書・ER 図・DB 定義・依存関係・モジュール仕様を自動生成する AI 駆動開発支援基盤です。

長く運用されてきたシステムほど、機能追加や改修の積み重ねでソースコードは巨大化し、「全体を理解している人」に依存しがちになります。AMANEX は、巨大化・属人化した既存コードとナレッジを**構造化ドキュメントへ自動変換**し、設計理解・継続開発・レガシー刷新を**非属人的に支える** AI 駆動開発支援基盤です。出来上がった設計ドキュメントは人と AI 共通の参照点となりお互いが協調して開発を進める礎となります。

また、AI 駆動開発には「ドキュメントはもう不要」「分からないことは AI に都度聞けばいい」「必要ならドキュメントも AI が作ってくれる」といった間違った認識もみられますが、小規模のシステムであれば、AI に丸投げでも問題ない場合もあるものの、**大規模商用システム**では、次のような問題が顕在化することが課題となっています。

- ・ AI が継ぎ足すたびに構造の一貫性が崩れ、巨大なブラックボックス（スパゲッティコード）ができます。

- ・ 都度 AI に聞く方式には「探索の限界（浅い探索）」「ハルシネーション」「非決定性」「コスト増大」という限界があります。

実際に AI に対して、ソースコードを丸投げしてドキュメント生成を AI に任せられるかといった実検証を行うとファイルの網羅性や相互参照のエラーや、差分更新ができないなどの致命的な問題を引き起こします。

AMANEX では、これらの AI 任せによる欠点を機械的なチェックの自動化によって補い、設計ドキュメントを基盤として実運用が可能なレベルに向上させることができます。なお、AI 丸投げの課題などをまとめた資料 (<https://www.bplats.co.jp/amanex/>) のダウンロード提供を開始いたしました。

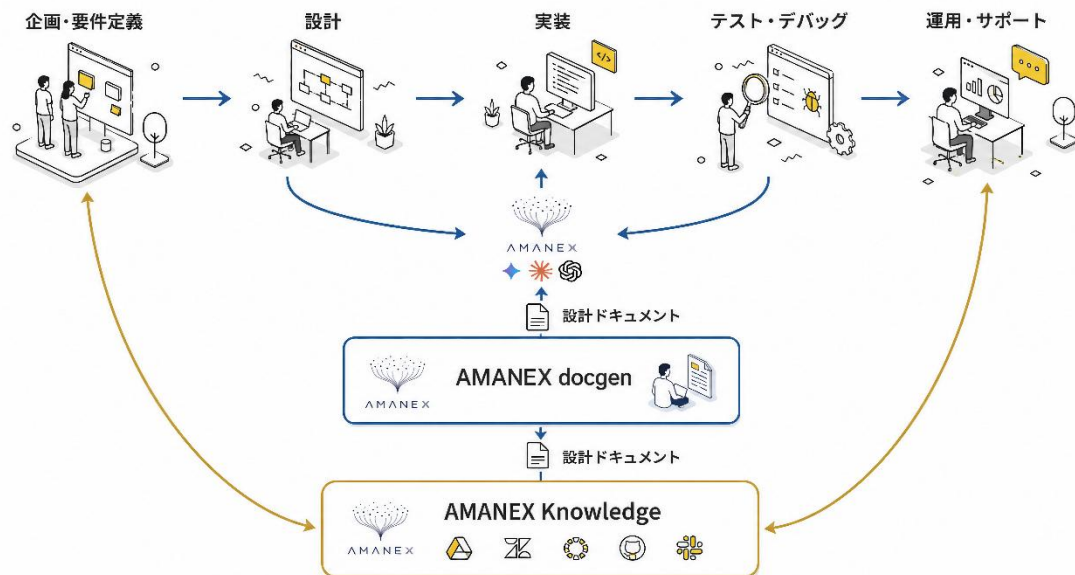


（１）サービス名「AMANEX docgen」 — 設計支援基盤

巨大コードから設計ドキュメントを完全自動生成。属人的な設計知識を客観的なドキュメントへ変換し、機能拡張やモダナイゼーションの確実な足場をつくれます。

（２）サービス名「AMANEX Knowledge」 — 知識支援基盤

社内に分散するナレッジを横断検索。必ず元となった文書の引用をエビデンスとして提示し、ハルシネーションを抑制した回答を生成します。



2つの基盤の統合活用 — AI 駆動開発の全フェーズを支える統合インフラ

2つの基盤はそれぞれ単独でも使えますが、docgen が生成した設計ドキュメントを Knowledge の知識ベースにも取り込むことで活用の幅が広がります。土台となる docgen の構造化ドキュメントに対し、Knowledge がエビデンス付きで問い合わせに答える—この組み合わせにより、企画・要件定義から設計・実装・テスト・運用サポートまで、AI 駆動開発の全フェーズを一気通貫で支援します。

生成された構造化ドキュメントを既存の AI Agent の「入力」として活用することで、エントリポイント問題の解消（トップダウンで必要な箇所を特定）、ドキュメントに沿った安全な変更（明文化された仕様の参照でシステム破壊を抑止）、他ドキュメントとの横断活用（Redmine・Zendesk・Google Drive などと併用した運用サイクル全体の支援）が可能になります。

【導入実績】

ビープラッツ株式会社（大規模 Web アプリ／約 9,000 ファイル）

ビープラッツでは、「AMANEX」が生成した AI 設計ドキュメントと AI Agent を日々の開発サイクルに組み込み、開発者と AI が協調して開発を推進する「AI 駆動開発」がすでに始動し、成果を上げております。

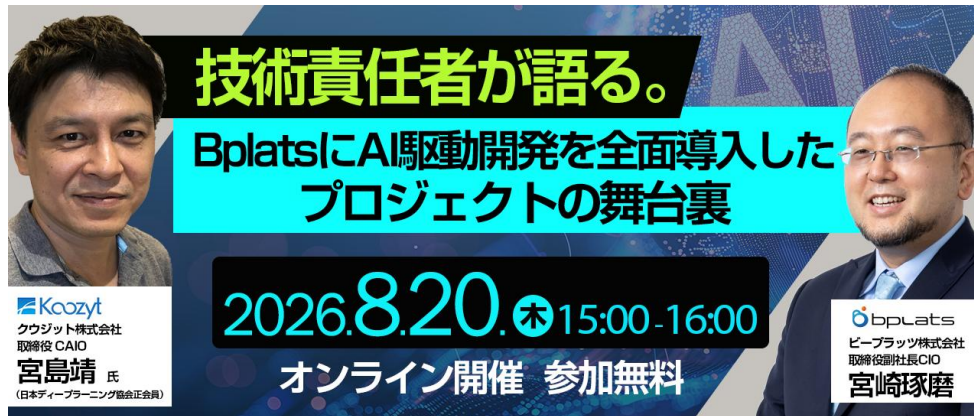
対象リポジトリ：7,950 ファイル + 1,000 モジュール（フォルダ）

生成した設計ドキュメント総数：9,083 件

生成されたドキュメント容量：75MB

近日開催のセミナーのご案内

「技術責任者が語る。Bplats に AI 駆動開発を全面導入したプロジェクトの舞台裏」をテーマに、クウジット株式会社 取締役 CAIO 宮島 靖 氏と、ビープラッツ株式会社 取締役副社長 CIO 宮崎 琢磨の講演を行います。



【セミナー開催情報】

タイトル：「技術責任者が語る。Bplats に AI 駆動開発を全面導入したプロジェクトの舞台裏」

講演 1 : 「Bplats を AI 駆動開発に全面移行した 4 か月の実体験を解説」
ビープラッツ株式会社
取締役副社長 CIO 宮崎 琢磨

講演 2 : 「巨大化した既存ソースコードの理解と継続開発を非属人的に支える AI 設計支援基盤とは」
クウジット株式会社
取締役 CAIO 宮島 靖 (日本ディープラーニング協会正会員)

開催日時： 2026 年 8 月 20 日 (木) 15:00～16:00

参加方法： 事前登録制 (無料)

開催形式： オンラインセミナー

詳細・お申込みサイト：<https://www.bplats.co.jp/news/2026/07/koozyt-seminar/>

【ビープラッツについて】

ビープラッツは、ビジネスモデル転換や新たな価値創造を支えるサブスクリプションビジネスの「基盤」を通じ、日本企業の強みを生かしたビジネス革命を後押しすることをミッションとしております。新たな AI ビジネス市場に対して『AI×Monetization』を掲げ、複雑な『従量課金』を解き放ち、すべての AI をビジネスに変える、唯一無二の課金プラットフォームを提供して参ります。

会社名 : ビープラッツ株式会社
(証券コード：4381 (東京証券取引所グロース))

URL : <https://www.bplats.co.jp/>

【クウジットについて】

クウジットは研究シーズを社会へ実装する事業構想とテクノロジーの会社です。社名の由来である「空」と「実」をつなぐことを理念に、“Curiosity＝知的好奇心”と

“Imagination＝想像力”を原動力に、研究者と共に未来の価値を構想し、社会に届けて参ります。私たちが目指すのは、テクノロジーを社会の良きことに活かすこと。

データ分析やAIを最大限活用し課題をひも解き、新しい知を実社会の解決策に変えていきます。その一連のプロセスを知的好奇心に満ちたワクワクする挑戦と捉えております。研究から芽生える知の種をテクノロジーとデザインで育み、社会の中で循環させる。クウジットは、未来に貢献するイノベーションを共創する“Research to Society”のハブであり続けて参ります。

会社名 : クウジット株式会社
URL : <https://www.koozyt.com>

【本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先】

◆ビープラッツ株式会社 広報

TEL : 03-6262-9425 FAX : 03-6262-9439 E-mail : pr@bplats.co.jp